

調べ方案内

作成者: 戸田市立図書館 / 作成日: 2024 年 3 月 14 日

わらびじょう

蕨城の所在地をめぐる説を調べるには



〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

蕨城は、南北朝時代に^{しふかわよしゆき}渋川義行が築いた平城で、大永6年(1526)に落城しました。蕨城の所在地については、^{ごてんちょう}蕨御殿町(現、蕨市中央4丁目)説と戸田市上戸田^{もとわらび}元蕨(現、戸田市上戸田2丁目付近)説があり、現在まで明確な答えが出ていません。

「蕨城」について調べるためのキーワード

わらびじょう

蕨城、南北朝時代、室町時代、蕨、戸田、埼玉県指定等文化財(旧跡)^{きゅうせき}

オンライン目録(OPAC)、インターネット及び各種データベースを検索する際の参考にしてください。

テーマの棚に行って本を探す。

- 図書館の本は一冊ずつ分類記号が付いています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。「蕨城」に関する資料の多くは、次の分類記号に該当します。本を探すときの目安にしてください。

「蕨城」に関する主な分類記号※これがすべてではありません。

031	百科事典	210.08	日本史辞典	213.4	埼玉県の歴史	291.033	地名辞典
291.3	関東地方の地誌	703.8	美術品目録				

蕨城の所在地を調べる。

●蕨城の所在地を調べるときは、郷土資料架の資料が参考になります。

【大まかな方角が分かる資料】

書 名	出版者	出版年	分類	本がある場所
きたあだちぐんし 『北足立郡誌』	名著出版	1972	T213.4	本館2階・郷土埼玉
	しふかわえちぜんのかみよしゆき p.204「一、渋川越前 守 義行の城址」 郡制施行から大正12年（1923）郡制廃止までの北足立郡の歴史をまとめたものです。これによると、蕨城は蕨町の東方にあるとしています。			
しんべんむさしふどきこう 『新編武蔵風土記稿』 第7巻（『大日本地誌大系』13）	雄山閣	1996	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.243「城蹟」 江戸時代の地誌です。蕨城跡が蕨宿の東にあったことが分かります。			
むさしのくにぐんそんし 『武蔵国郡村誌』 第1巻	埼玉県立図書館	1953	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.227「城蹟」 明治時代初期に作られた武蔵国（埼玉県に属する地域）各村の地誌です。 しんべんむさしふどきこう 「新編武蔵風土記稿」の記事を引用しています。蕨城が蕨宿の東にあったことが分かります。			

【蕨市御殿町ごてんちょう（蕨市中央4丁目）説】

書 名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『大百科事典』 26巻	平凡社	1934	R031	本館2階・参考資料室
	p.667c-d「ワラビ蕨」 しふかわ 渋川氏の館址があり、 ごてんちょう 御殿 丁 と称していたと書かれています。			
『埼玉大百科事典』 5巻	埼玉新聞社	1981	T031	本館2階・郷土埼玉
	p.272「わらびじょうあと蕨城跡」 ごてんちょう 蕨城が蕨市御殿 町 にあったこと、現在遺構として水堀・空堀の一部が残存していることが書かれています。			

『埼玉県謎解き散歩』 2	中経出版	2013	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.52～54「^{しふかわ}足利氏の名門^{わらび}渋川氏の東下と蕨城」 蕨城の位置は、「和楽備神社の南方（市民会館を中心とするところ）」で、『埼玉県史料』におよそ 70 間四方の方形館と書かれていることが分かります。			
『わらび文化財マップ』	蕨市立郷土資料館	年不詳	T291.3	本館2階・市町村郷土
	「県指定 蕨城跡」 所在地は、「蕨市中央 4-21」と書かれています。鷹狩り用の休憩地の「御殿」として蕨城の跡地が利用されたことが分かります。			
『埼玉の古城址』	有峰書店新社	1983	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.40～43「蕨の古城」 ^{わらび}和楽備神社付近を要害と呼んでいたと書かれています。			
『市町村指定文化財目録』	県政情報資料室	1980	T703.8	本館2階・郷土埼玉
	p.22「8蕨市 記・旧跡 蕨城址」 所在地は、「蕨市中央四丁目」と書かれています。			
『埼玉の指定文化財』	埼玉県文化財保護協会	2002	T703.8	本館2階・郷土埼玉
	p.49「蕨市 指定文化財No.1 蕨城跡（わらびじょうあと）」 所在地は、「蕨市中央 4-21 ほか」と書かれています。			
『埼玉県文化財目録』 （平成28年3月現在）	埼玉県教育委員会	2016	T703.8	本館2階・郷土埼玉
	p.110「5旧跡 No.4蕨城跡」 所在地は、「蕨市中央 4-21 ほか」と書かれています。			
『埼玉の城』	まつやま書房	2023	T213.4	本館2階・郷土埼玉
	p.49「蕨城跡（消えた城郭）」 蕨城の所在地・歴史・遺構・アクセスが記載されています。古図・地積図から見た蕨城の推定範囲が書かれています。			

【戸田市元蕨説】

書 名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『蕨城はどこにあったか』	戸田市教育委員会	1968	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.1～38「第1部」 蕨城の所在地が従来の^{わらび}和楽備神社の敷地ではなく、戸田市元^{もとわらび}蕨の三左衛門屋敷（光明寺付近）にあったとしています。			

【両方の説を載せる資料】

書 名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『蕨市の歴史』 1巻	吉川弘文館	1967	T213.4	本館2階・市町村郷土
	p.211～222「岩槻太田氏治下の蕨城と周辺村落」 ごてん 御殿町商工会を含む一画説及び戸田元 蕨 説について論じています。			
『埼玉史談』 第53巻 第4号(通巻288号)	埼玉郷土文化会	2007	T213.4	本館2階・郷土埼玉
	p.8～15 沼口信一「蕨城と渋川氏」 戸田元 蕨 説及び蕨御殿町説に触れ、戸田の御所の主を論じています。			
『日本城郭大系』 5巻 埼玉・東京	新人物往来社	1979	R291.0	本館2階・参考資料室
	p.53「蕨城(蕨市)」、p.54「蕨城(戸田市)」 それぞれ推定される蕨城の所在地として、蕨市中央4丁目及び戸田市 上戸田字前谷を挙げています。			
『歴史ロマン・埼玉の城 址 30 選』	埼玉新聞社	2005	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.36～39「蕨城——龍體院伝説」 所在地は、蕨市中央 4-21 ですが、『新修蕨市史』に出ている戸田市上 戸田 2 丁目(町名変更前は戸田町元 蕨)、南北朝時代の桃井直常館の あった光明寺周辺という説も紹介しています。			
『日本歴史地名大系』 11巻(埼玉県の名)	平凡社	1993	R291.0	本館2階・参考資料室
	p.202「蕨城跡」 「新編武蔵風土記稿」に基づく蕨御殿町説(中央4丁目)及び戸田元 蕨 説があることが分かります。			

★蕨城に関する「調べ方案内」は、他にもあります。

「蕨城の概要を調べるには」(484KB)

「蕨城及び渋川氏関連史料を見るには」(653KB)

「渋川氏について調べるには」(610KB)

※リンク先は、PDF ファイルです。